

2019 年度 8 月野鳥と自然観察会 報告

| | | | | |
|---------|--|------------|---------|-------|
| 日 時 | 2019 年 8 月 3 日 17 時 30 分～20 時 00 分 | | 記録者 | 北浦きし子 |
| 観 察 地 | 加古川河川敷 | | | |
| 参加人数 | 在校生 12 名 | 顧問、相談役 3 名 | 総計 15 名 | 天候 晴れ |
| 観察コース | 山陽高砂駅～加古川河川敷 | | | |
| 観察概要 | <p>定刻に山陽高砂駅に集まった探鳥会のメンバーは 100 名を超す大所帯。本日はお日柄も良く、「わ」会員、KSC 会員、そして、ひょうご野鳥の会の探鳥会が同時開催されました。迷子にならないよう世話人が誘導。間違って他の団体のところへ行くと 300 円要ります。</p> <p>去年、山陽電鉄の鉄橋の上にあったミサゴは出張中で見られませんでした。普段と違い河川敷に大勢のギャラリーの塊、小さな野鳥は早々とねぐら入り？ハッカチョウも姿を見ることができませんでした。</p> <p>明るいうちにウミネコが橋に設置されている電灯の上で一休み。スペースが限られているので、一つの電灯に 1 羽、多くても 3 羽が仲良くとまっていました。この時間にツバメの飛ぶ姿を見ても、目の肥えた会員はねぐら入りの時間を間違えている、遠いところのツバメほど早く帰ってくる、など等一大イベントが始まるのを余裕で待っていました。</p> <p>夕日が沈み、西の空に切れ長の三日月が薄っすら見えると、ツバメの群れが沸いてきました。目の前に繰り広げられるツバメの飛翔は、不規則に、時には乱暴なまでに羽ばたき、高く舞い上がったかと思えば、急降下して水面すれすれを滑空していく。ツバメたちは一緒に飛んでいるのを楽しんでいるようでした。クライマックスは我々が立っている真横を通り抜けるツバメたち。</p> <p>今年もみな感動に包まれて帰路に着きました。</p> | | | |
| 次回以降の予定 | 9 月 23 日 (月) 菊水山 タカの渡り観察 雨天中止。 下見会はありません。 | | | |



スタンバイツバメさん、いつでも帰ってらっしゃい。



三日月にツバメ
スマホでは限界です。